使用する電池についてのご注意

1　ニッケル水素電池（付属品）

ニッケル水素電池等の二次電池（充電可能な電池）をご使用の際は、以下の事項に留意いただき、本カメラでのご使用をお願いします。

（1）ニッケル水素電池の特性

- 電極に皮脂等の汚れがあると十分な充電ができない場合やカメラの性能を十分に発揮させられない場合があります。
- 十分に使いきらない状態で充電を繰り返すと「メモリー効果*1」が発生する場合があります。

  ＊1）「メモリー効果」：ニッケル水素電池やニカド電池は、十分に使いきらない状態で放電を中止し充電を繰り返すと、見かけ上の容量が少なくなります。一時的なものであり、十分な放電（深い放電）を行うことで回復させることが可能です。
- 電池は使用しない時も、自然放電により容量が低下します。

（2）デジタルカメラのご使用時にみられる症状

上記の電池の特性によりデジタルカメラのご使用時に下記の症状が見られる場合があります。

- 充電してもカメラの電池残量警告がすぐ出たり、撮影枚数が極端に少なかったりする。
- 充電後、数日経過した電池を使用した場合、早くカメラの電池残量警告が表示される。

これらは電池の特性によるもので故障ではありません。次の「実施いただきたい事項」をご参照ください。

（3）実施いただきたい事項

- お買い上げいただきました電池（付属品）は充電されておりません。ご使用前に必ず充電してください。充電に当たっては以下の点にご留意をお願いします。
  - ①電池の電極、充電器の端子をきれいな乾いた布で強く拭いてください。
  - ②充電器への電池の着脱を数回繰り返してから充電してください。
  - ③使用する直前に充電することをおすすめします。
- 上記の（２）の症状が見られた場合にはお手数ですが以下の事を順にお試しください。
  - ①電池の電極をきれいな乾いた布で、強く拭いてください。その後、再度カメラに入れてご使用ください。
  - ②それでも症状が改善されない場合には、カメラをオートプレイ機能（自動再生）にて、自動的に電源が切れるまで電池を使いきってください。その上で充電してからお使いください。
    オートプレイ機能については使用説明書の57ページをご覧ください。

（➠裏面へ）

2　アルカリ乾電池

緊急用としてのみお使いいただけます。お使いになる場合には、次の点にご注意ください。

- 電池の電極をきれいな布などで清掃することをおすすめします。
- 撮影可能枚数は制限されます。
- 電池のメーカーや温度環境によって撮影可能枚数は変わります。
  参考：FUJIFILMアルカリ乾電池使用の場合、液晶モニターOFF状態で＋20℃にて30枚前後の撮影が可能です。＋5℃以下では撮影できないことがありますが故障ではありません。
- 必ず液晶モニターをOFFにして*2、ファインダー撮影でご使用ください。
  なお、次の機能は液晶モニターで撮影するので使用できません。マクロ（近距離）撮影、ムービー（動画）撮影、デジタルズーム撮影
- 液晶モニターOFFで使用するため、電池残量警告が表示されずに電源が切れます。
  また、レンズカバーの開閉が途中で止まることがありますが故障ではありません。

＊2）〈液晶モニターをOFFにセットする手順〉

①モードダイヤルを“ 📷 ”に合わせて電源を入れます。

②液晶モニターが消えるまで表示ボタンを数回押します（詳しくは使用説明書の19ページをご覧ください）。“ 📷 マニュアル ”モードになっている場合には“ MODE ”を選択して次に“ 📷 オート ”を選択して実行ボタンを押してから、表示ボタンを押してください（詳しくは使用説明書の38ページをご覧ください）。

以上の手順のあと、ファインダー撮影でご使用ください。

※ストロボボタン、メニュー/実行ボタンまたは表示ボタンを押すと、液晶モニターがONになります。その場合は再びOFFにしてください。

3　マンガン乾電池・リチウム電池

マンガン乾電池・リチウム電池は使用できません。

電池の発熱などにより本機の故障の原因になることがありますので、使用前に必ず電池の種類をご確認ください。

富士写真フイルム株式会社

〒106-8620　東京都港区西麻布2-26-30

BB11928-100(2)　　FGS-002111-FG